

Thunderphone
サンダーホン

サンダーホン

雷検知器


LA-P2 型取扱説明書

取扱方法

- ◎アンテナを引出し、パワースイッチをONにする。(E表示のときは電池を交換する。)
- ◎雷放電を検知したら、
モード1：ブザーが鳴り、距離測定を開始する。その後放電のたびにブザーが鳴る。
モード2：断続ブザー音が鳴り(6km表示まで)距離測定を開始する。
- ◎雷鳴が聞こえたら、
ストップ釦を押すと放電点までの距離が表示され、自動的に復帰する。
- ◎距離表示は15kmになると自動的に復帰し、待受状態になる。

- モード1：ブザーの間隔が短くなったら、雷が接近している状態。
- モード2：断続ブザーが鳴っている時に雷鳴を聞いたら、雷がすぐ近くに来ている。
- 雷が接近したら、アンテナを収納し安全なところに避難する。

◎サンダーホンは、避雷を目的とした装置ではなく、雷の接近を検知するための装置です。
従って避難に際しての災害発生については責任を負いません。

 東京インターホン株式会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 39-6

TEL (03) 3463-2161 (代)

I 87-02-3379



安全上の注意

警告

- 雷が接近すると、落雷の恐れがあります。早目に安全な場所へ避難して下さい。

注意

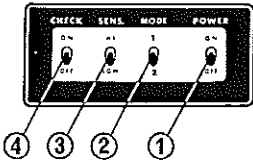
- 周囲の環境(建物内・トコナ・山間地・強電界等)により誤動作する事があります。



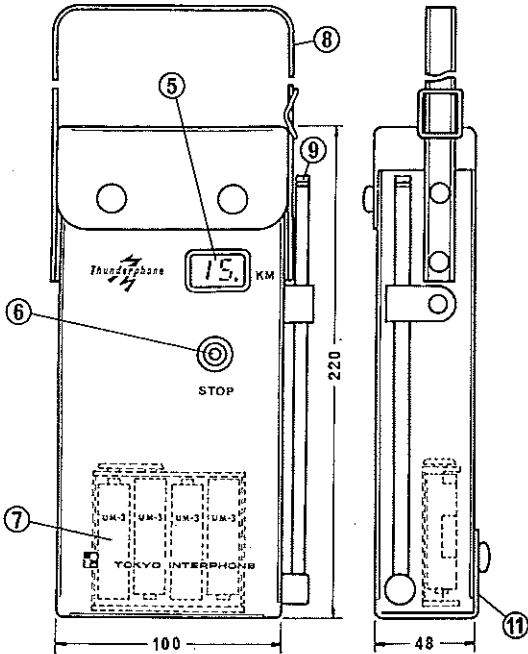
TOKYO INTERPHONE

1. 各部の名称

- ①パワー (POWER) スイッチ
- ②モード (MODE) スイッチ
- ③感度切替 (SENS) スイッチ
- ④チェック (CHECK) スイッチ
- ⑤デジタル表示窓
- ⑥ストップボタン



- ⑦電池
- ⑧ベルト
- ⑨アンテナ
- ⑩取扱説明
- ⑪電池取替蓋



2. サンダーホンのあらまし

サンダーホン は、落雷による事故を防ぐために雷雲の接近を検知し、放電点までの距離を直読し、避難の時機を的確に判断するための装置です。

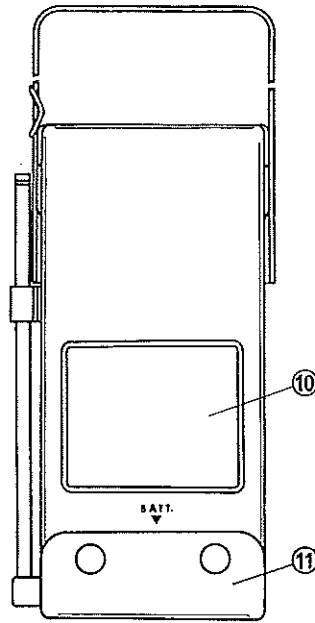
雷放電が発生すると、その電界変化をアンテナで捕え、ブザー音が鳴り、雷鳴が聞こえてくるまでの経過時間を音の伝播速度から換算して 1 km ごとに表示します。

従って雷鳴が聞こえたらストップボタンを押して下さい。その時の表示窓の数字が放電点までの距離になります。

雷は、通常時速 10km ~ 40km で移動するといわれています。

サンダーホン

は雷放電が 20km 位に接近すると検知する機能をもっています。距離表示は 0 ~ 15km まで表示し自動的に復帰して待受状態になります。したがって雷放電を検知してから 15km を表示するまでに雷鳴が聞こえなけ



れば放電点は16km以上の所にあると判断できます。

サンダーホン は、田畑での農作業・ゴルフ場・野外工事現場・営林作業・ハイキング・釣等にご利用いただくようおすすめいたします。

サンダーホン は、雷の接近を知らせると共に距離を測定し、避難の時機を的確に知る装置です。したがって災害発生に対しては責任を負いかねますので、ご承知下さい。

3. **サンダーホン** の取扱方法

A. 電池を入れる。

電池取替蓋をあけ、内部から電池ケースを引き出して、単3型電池4本を矢印にしたがって入れます。(電池の⊕⊖を間違えないで下さい。)

B. アンテナを引き出し、パワースイッチをONにする。

アンテナを一杯に引き出し、パワースイッチをONにすると表示窓に赤点がつき、動作状態になります。

電池の電圧が低いときは表示窓に“E”の文字がでますので、このときは電池を交換して下さい。

C. モードスイッチの設定

LA-2P型には2通りの使い方がありますので、スイッチを1か2のいずれかに切替えてお使い下さい。

モード1：放電を検知するたびにブザーが鳴り、ブザーの鳴る間隔が短くなることで、

表示には関係なく雷の接近を知ることができます。

モード2：放電を検知すると断続ブザー音が鳴り(6km表示するまで)、放電点までの距離の測定を開始します。

D. 感度設定

通常は、感度切替スイッチをHIにしておきます。地形や測定場所によって、雷鳴もないのに作動する場合がありますので、このときはLOWにして下さい。

E. チェックスイッチ

サンダーホン の作動を確かめるため、携行する前に、チェックスイッチを押して下さい。ブザー音が鳴り、表示窓に数字が出れば良好ですから、ストップボタンを押し復帰させて下さい。

F. 雷放電を検知したとき。

モード1：ブザーが鳴り(約3秒)距離測定を開始します。雷鳴が聞こえたらストップボタンを押すと、放電点までの距離が表示され(約3秒)、自動的に復帰し待受状態になります。距離測定中に、次の放電を検知すると距離表示とは関係なく、そのつどブザーが鳴ります。したがって雷が接近すると、ブザー音の間隔が短くなります。

モード2：断続ブザー音が鳴り(6km表示まで)、距離測定を開始します。雷鳴が聞こえたらストップボタンを押すと、放電点までの距離が表示され(約3秒)、自動的に復帰し待受状態になります。断続ブザー音は0km～6kmまで鳴ります。

雷が10km ぐらいのところに来たら避難をして下さい。6 km以内(断続音)は特に注意が必要です。

モード1,2共通:表示が15kmになると自動的に復帰して待受状態(赤点)になります。

4. 取扱いのご注意

A. **サンダーホン** は、高感度に設計されていますので、次の場合作動することがありますが、これは異状ではありませんので、ストップボタンを押して待受状態にして下さい。

- 1)電源スイッチを入れたとき。
- 2)アンテナに手を触れたとき。
- 3)本器に衝撃を加えたとき。
- 4)蛍光灯に近づけたとき。
- 5)送電線の下。

B. 電池の寿命は1日5時間使用して約1カ月ですが、パワースイッチを入れたとき表示窓に“E”の文字がでたときは電池を交換して下さい。

C. **サンダーホン** を長期間使用せずに保管するときは、電池を取り出して置いて下さい。

5. 避難の参考

一般的に雷が10km ぐらいに近づいたときから、5 km ぐらいまでに近づくの約10分かかりますので、この間に避難することが大切です。

安全な避難場所は……

- 金属体で覆われた避難小屋

○避雷針を設備した建物の中

○鉄筋、鉄骨建物の中

○自動車、バスの中

安全な避難場所のないときは

○落雷の危険を感じるようになったら、金属のついた身廻り品(農機具、ゴルフのクラブ等)は**サンダーホン**も含めて遠くへ(5 m以上)手放し、付近の高地とか高い木のそば(真下は危険で5 m くらい離れる)に出来るだけ低く屈んで下さい。(地面に伏せることはよくありません。)

6. 仕様

検知器	無指向性ロッドアンテナ
放電検出距離	平地の場合で約20km 検出感度はH・Lの二段切替
動作モード1	放電点距離測定中に、次の放電を感知できる。
モード2	放置して使用するに適し警報(断続音)を出し、自動的にリセットする。
ブザー音	モード1 放電を感知するたびに約3秒鳴る。 モード2 0~6 km のときに断続音が鳴る。
放電点距離表示範囲	0~15km(1 km毎)デジタル表示
電源	SUM-3 乾電池 1.5V 4本 電池切れ予告装置つき
消費電流	待受時 5 mA 動作時約60 mA
使用温度	-20°C~60°C
大きさ	220(高)×100(幅)×48(奥)mm
重量	780g(乾電池共)